
三文輪廻

津軽 あまに

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

三文輪廻

【コード】

N28490

【作者名】

津軽 あまに

【あらすじ】

輪廻の担い手、襦ぎの司。渡しはお安く三文程度。さあさワタシは何でしよう。／＼掌編。息抜き程度にどうぞ。

輪をくるくると廻している。

くるくるくると繰り返す。

流れからから転じている。

からからからと繰り返す。

同じ処を巡り続ける。

同じ様に周り続ける。

身に宿す全ての汚れを捨て去ったとき。

彼等はその渦から解かれ脱せるのだという。
では。

彼等の生が生み出した汚れはどこへ行くのだろう。

その汗は。その垢は。その血は。

どこへと流れて消えてしまうのだろう。

彼等は渦の中に身を投げる。

完璧な美しさを求めて。

清浄なる姿を求めて。

あるモノは、流れに身を裂かれて散っていった。

奴は腕を伸ばし過ぎたのだと。

欲が深いと搦め捕られるのだと皆が笑った。

あるモノは、周りに染められて在り方を変えた。

奴は純粹過ぎた。

ここは真つ白な存在には向かぬと皆が嘲った。

敗北者には憐憫もなく弔意もない。

ああ。

なんて、醜い清浄の坩堝。

それでも私は廻し続ける。

この内にある閉塞した輪廻を。

さあ。清らかさを求めるモノ達よ。
私の内に抱かれなさい。
必要なのは渡し賃。

お代はたったの三文程度。
けれど清らかに笑うモノ達よ。

知っているでしょうか。

貴方達が清められるのは。

また、汚れるためだということを。

輪をくるくると廻している。

くるくるくると繰り返す。

流れからから転じている。

からからからと繰り返す。

かくて、今宵も三文輪廻。

コインランドリーは、ころころ廻る。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2849o/>

三文輪廻

2010年10月13日15時27分発行